

令和6年度 第3回 大阪府立茨田高等学校学校運営協議会

令和7年1月30日(木) 15:30~

大阪府立茨田高等学校 会議室

協議委員

協議委員：川村幸治、早坂三郎、亀元政志、渡邊哲朗、綿世良一、村井沢子

学校：松井くみ子(校長)、紙本享介(教頭)、西岡宏二(事務長)、

西本敦史(首席)、野崎龍(首席)、木原義憲(指導教諭)

松田勲司(進路指導主事)、南花子(保健主事)、下村真也(生徒会主担)

大東央靖(第3学年主任) 山村郁栄(第3学年担任)

記録：野崎龍

1. 校長挨拶

*最後の学校運営協議会

2. 本年度の進捗状況(校長より)

*学校経営計画

- ・生徒満足度が高い
- ・生活実践の授業について

*授業アンケート(紙本教頭)

- ・肯定率90%以上

*コミュニケーションアンケート(西本首席)

- ・コミュニケーションの取組みについての指標

「自分の考えや気持ちを抑え込まずに、人と話すことができる。」の項目では、3年生の入学当初から10ポイント以上の上昇。また、「人の意見を尊重し、自分の考えや行動に取り入れている。」の項目では、入学当初から約7ポイントの上昇。この結果は、コミュニケーションの取組みを3年間続けたことで自分の考えや気持ちを表現する適切なやり方を学び、生徒自身の高校生活の中での成功体験や失敗体験を通して身につけられた。また、人の意見を聴くことが、自らにとって有用であると生徒自身が認識できたと分析している。

- ・自己肯定感の指標について

自己受容感の項目、自己信頼感の項目で20ポイント以上の上昇。コミュニケーションHRの取組みが実を結んだと感じている。

- ・最も重要なことは、この結果が“コミュニケーションの取組みだけでもたらされたものではない”ということ。学年の3年間に渡る生徒との関わりが大きな要因となったとも考えている。

*学校教育自己診断(西本首席)

《保護者》

- ・肯定率が高い

《生徒》

- ・授業、行事が楽しい
- ・防災体験が好評
- ・進路指導も高評価

《教員》

- ・生徒対応に関していい評価
- ・学校行事を頑張った
- ・居場所カフェについて

*進路報告（松田進路指導主事）

- ・学校就職100%
- ・専門学校希望者が減っている

3. 協議

テーマ：「茨田高校を振り返って」

議長：川村幸治氏

議長

- ・アンケート結果が非常に良い
- ・少人数であることで、コミュニケーションとれている

協議委員

- ・地元の祭りでの子どもが減っている
- ・祭りに参加する生徒会の生徒は起立が守られている
- ・昔に比べておとなしくなった。

協議委員

- ・茨田高校には生徒が生き返るようなノウハウがある
- ・茨田高校の文化が残ればよい

協議委員

- ・学校がなくなるのは入試制度や社会情勢のためである
- ・教員には新しい学校で、今までできなかったことをしてほしい
- ・大変な学校ではみんなが意見を出し合って対策を練れる

協議委員

- ・コミュニケーションアンケートの結果がとてもよい
- ・卒業させることが目的ではない
- ・卒業に目標を置くのではなく、その先をみる

議長

- ・それぞれの立場でいい意見があった
- ・野崎高校との統合は風土が違うので異動した教員は大変かもしれない
- ・がまんせずにいい教育者になってほしい

8. 謝辞（校長より）

- ・美術や書道も頑張っている